

医学工学博士 パトリック・フラナガン

2010年1月2日

私、パトリック・フラナガンは、日本のMIZ株式会社(代表取締役 佐藤文武)により、私の開発した製品に対する科学的に根拠のない誹謗中傷を受け、それにより私及び私の研究所の信用と名誉が著しく傷つけられたことに対し、以下に事実関係を明確にすると共に、同社に対して法的手続きによりその責任を追及し、損害賠償を請求することとしました。

MIZ株式会社は、当研究所が開発した製品 (Microcluster) に水素化ホウ素ナトリウムが含有されていると根拠なしに断定し(ホウ素とナトリウムを含有するMicroclusterを水に溶かすと水素が発生することより水素化ホウ素ナトリウムが含有されていると判断したのは科学的な根拠がないです)、人体に有害な危険物質を含む商品を販売していると喧伝し、当社の商品の顧客に対してそれに代わるものと称して自社開発の製品を販売しようとしています。これは明らかに脅威・恐喝に類する威力妨害行為であります。

私の開発した製品には水素化ホウ素ナトリウムは含まれていません。このことは、ミネソタ大学の研究所で実施したイオンビーム分析機 (Ion Beam Analysis) とマイクロX線解析装置 (Micro Xray Diffraction) により多少のホウ素を含むシリカ化合物であることが検証されています。

ホウ素そのものは有害物質でないことは、日本の独立行政法人 製品評価技術基盤機構と財団法人 化学物質評価研究機構が主導した化学物質の初期リスク評価書の中で“ホウ素及びその化学物は現時点ではヒト健康に悪影響を及ぼすことはない”と判断され、ラベル規制により表示することさえ必要ありません。ホウ素は有害物ではなく、人体に対する重要な必須ミネラルであります。水素化ホウ素ナトリウムそのものは、FDAが食品に用いることを認めている化学物質で、マーガリンの製造だけでなく、多くの加工食品の原料として使用されており、毎年全世界で数千トンが使用されていますが、多量に摂取した場合には胃腸にストレスを与え、粘膜を傷つける可能性が論証されています。

しかしながら、私の開発した製品の中には、微量のホウ素がシリカ化合物の触媒として使用されているだけで、一切水素化ホウ素ナトリウムは含有されていないことは上述した通りです。

参考までに申し上げますと、水素化ホウ素ナトリウムはノーベル賞受賞化学者H.C.Brownによって1942年に発見されたばかりの物質で、水素とホウ素とナトリウムを水に溶かすと偶然に化合されて水素化ホウ素ナトリウムを生成するものでないことは言うまでもありません。

Patrick  
Flanagan

Digitally signed by Patrick  
Flanagan  
DN: cn=Patrick Flanagan, o=PHI  
Sciences, ou,  
email=patrick@phisciences.com,  
c=US  
Date: 2010.01.02 10:11:17 -0500

Dr. G. Patrick Flanagan,